

# Samoan Life Memories vol.4

2025.9.19

Malo(サモア語でこんにちは)!

JICA 海外協力隊 2024 年度 3 次隊、太平洋の島国・サモアの女子校・

St.Mary 中高等学校に PC インストラクターとして派遣中の関根明希乃です。

PC インストラクターと言えど、学校のカメラマンも任されていて、8 月も沢山写真を撮りました。最早カメラマン職種みたいだ…笑

## 保護者面談の日



渡された成績表に険しい表情の親子もいれば、良い成績だったのか晴れやかな笑顔の親子も





# ガーナ人の先生のご家族

Vickyの旦那さん



Vickyの長男・17歳



Vickyの長女  
・15歳

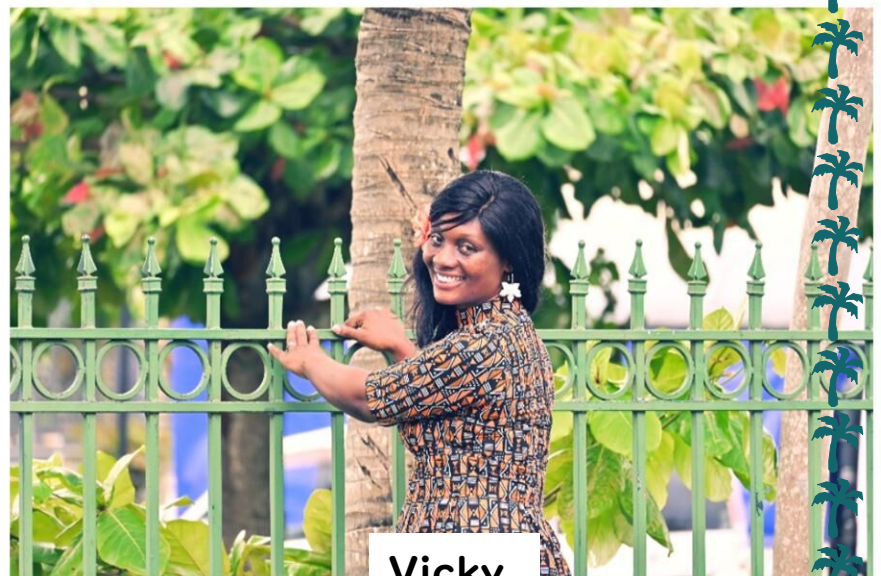


ガーナ出身の Vicky は、外国人としてサモアで暮らす辛さをよく分かってくれる理解者です。家族写真を撮り、プリントアウトして、誕生日プレゼントに渡しました！

Vickyの次女・6歳



Vicky





# Feast day

フィジー出身の  
先生・マリア



トンガ出身の事務員  
・アカタ



サモアはアメリカの植民地だった  
為キリスト教徒が多く、配属先の  
学校もカトリック系です。Feast  
day(マリア様の被昇天日)のお  
祝いをしました。



生徒会の子達



天使のように優しい  
シスター・アヌンシア



奨学金で中国に留学予定の  
卒業生達



# 大家さんのお母さんの 95 歳の誕生日会



大家さんは 11 人兄弟ですが、殆どオーストラリアやニュージーランドに行ってしまったそうです。バイキング形式のご馳走でした! サモアは、結婚しても両親と暮らし続ける家庭が多く、かなり関係が濃いです。



大家さんの長男  
・チョーチの奥さんと娘



大家さんのお母さん  
95 歳!!



大家さんの次女・ペペ



大家さんの長女・メアリーの娘



# 調理実習の様子



ちゃんとビニール手袋  
を付けていました！  
皆おいしそうなお飯を  
作りました。





## 体育の授業の様子



## サモアの虫、やっぱり無理

7月～8月はデング熱の流行で5週間も休校。その代わり大量の宿題を週何度か配り、先生たちは毎日出勤して採点の山を片づける日々。サモアの衛生観念をあまり好きになれません。廃棄物処理が進んでいないから害虫が沢山湧く。学校にはネズミやGなど沢山います。そして、7～8月はGが私の部屋によく現れました。南国に行くってつまりそういうことだけど、行けば慣れるだろうと甘く考えていました。僅かな隙間から入ってくるので、部屋中の隙間を見つけてはテープで埋めました。そして、明らかに人体に有害そうな強いG対策スプレーを、週1本使い切るペースで予防として撒いています。それでも、玄関の入り口に挟まっていたり、ベランダは見る度10匹ぐらい死骸や卵などあります。ベランダ掃除中、隣の家の木からGが飛んできたり…。一人暮らしだと特に心が折れそうになります…泣 あと1年7か月中々長い…泣

**Manuia le aso!(良い1日を)**

2025.9.19

JICA海外協力隊 2024 年度3次隊

サモア・PCインストラクター隊員

関根明希乃